

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail: chiba_syokutairen@ybb.ne.jp

千葉職対連ニュース

新年のご挨拶

平和で働きやすい国にするよう とりくんでいきましょう

(会長 阿部 忠夫)



職対連は各月最終土曜日の午後「労災職業病なんでも相談会」を開催してきました。

1976年12月第1回相談会から数え41年1ヶ月目の2017年12月16日が第487回となります。

3年ほど前から相談にみえられる方が減少してきました。巷では過労死やメンタル疾患が多発していますが、相談者が減少しているのは何故か分析してみました。職対連内部の問題としては、ホームページがなくなりインターネットでの検索ができなくなったことがあげられます。ホームページについては専門家をお願いして作成することを検討しています。会員の方でホームページの作成ホローの出来る方がいましたら是非お願いしたいと考えています。

もう一つ相談者減少の要因として、県内各市町村の広報誌に相談会開催の記事が掲載されないことが多くなったからと考えます。各市町村も全体的に情報量が多くなり、関係の薄い団体の行事日程に紙面を割けにくいようです。今後は県や市町村に相談会の後援をしていただけるよう手続きをして、各市町村の広報誌に出来るだけ多く掲載していただ

るようにしていきます。

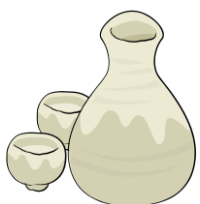
安倍政権は先の衆議院議員選挙で多数を占めたことをよいことに、念願であった「憲法改正」に本格的に取り組もうとしています。自衛隊を軍隊とし、戦争の出来る国にする「憲法改正」は絶対反対していかねばなりません。

次の通常国会に出される「働き方改革推進法案」は、時間外労働の上限規制、裁量労働制の拡大、高度プロフェッショナル制度、同一労働同一賃金等8本の法律改正を一括した法案です。良いものも悪いものも一つの法案で議論し一括採決し成立させようとしています。

時間外労働時間の上限については月45時間、年360時間(休日労働時間を合わせると最大960時間)を原則としつつも、特別な事情がある場合は単月100時間未満、複数月平均80時間としています。これは過労死基準そのものであり死ぬまで働かせることができるもので、過労死等防止推進法と相いれないものです。

次の通常国会に注目し、労災事故や労災被災者を出さない、平和で働きやすい国にするよう取り組んでいきましょう。

忘年会で和やかに交流しました



12月16日(土)、2017年最後の相談会を終えて恒例の忘年会を開きました。今回は会員のMさんがサラダ、煮物、漬物まで手作りを差し入れてくださり、一段と彩り豊かな宴席になりました。神社の会館でみんなで会場設営、買い出し、後片付けをするのが楽しい宴会でした。



晩秋の奥信濃を訪ねて

東京あたりでは寒さが厳しくなるという秋が深まった頃信州を訪れました。信州では遠くの高い山はすでに白銀をかぶっていますが山里では紅葉真っ盛りでした。

長野県北部の飯山市で開催された第17回関甲信学習交流集会に参加しその機会を利用した「小さな旅」のレポートです。

当地は地元の長野県では奥信濃と呼ばれています。県庁所在地の長野市は長野県北部に位置し北信濃・北信とも呼ばれます。飯山市はその長野市からさらに東奥にある所から奥信濃と名付けられたようです。その隣はもう新潟県です。信濃の国の山々を縫うようにして東南から北上してきた千曲川が、長野市のある善光寺平で西から流れてくる犀川と合流すると今度は流れを東北方へ変えます。千曲川はこのあたりで川幅を大きく広げてゆったりと流れる大河の趣です。やがて千曲川は北信濃の山々を分けるように流れていき新潟県側へと流れ込むと名前を信濃川と変えます。

その県境の手前にある飯山を奥信濃と呼んでいるようです。飯山は雪と寺の町で信州の小京都ともよばれています。長野から奥信濃へと通じる道は「一里一尺」と呼ばれるほど雪が深くなる豪雪地帯です。飯山線の森宮野原駅構内の積雪ポールは高さ8メートルを超える記録があります。(↓飯山線)



千曲川を見下ろす山の中腹辺りを JR 飯山線(現しなの鉄道)が走ります。列車の車窓から見える景色は冬ももう遠くありません。たわわに実った柿の木は葉

をすっかり落とし柿の実が晩秋の日ざしで輝きます。長野県らしいのは柿の木の隣に緑の葉の中からリンゴの赤い実が見えるところです。最近はこちらの実もとる人もいないようです。食べ物が少なくなる季節での鳥へのプレゼントになるのでしょうか。

飯山では今年すでに雪が2、3回降ったそうですが積もってはいません。12月半ばになると降った雪が融けなくなり根雪となります。寒さ厳しい冬は翌年4月頃まで続くので豪雪対策も必要です。背の低い木々には周囲を囲い家の窓ガラスが雪の重みで割れないよう防御してあります。私がかつて訪れたころにどこでも見られた茅葺屋根の家はなくなり防火用トタン屋根に代わりました。雪国に彩をそえる赤や青の屋根は周囲の鉛色にもよく映えます。こういう自然の中で雪国の人たちの暮らしがあるのでしょうか。

各地からの参加者が集う交流集会の歓迎宴会では地元プラスバンドの皆さんが演奏してくださいました。その中の曲「早春賦」を耳にすると、雪国の人たちの春を心待ちにする思いをひしひしと感じさせます。懐かしく気分をゆったりさせてくれた演奏が次々と展開され演奏会も盛り上がりました。アンコールに応じて最後に演奏してくれたのが小学唱歌「ふるさと」でした。その作詞者で地元出身の文学者・高野辰之は飯山でも暮らしており「おぼろ月夜」も作詞しました。野沢菜の産地では、春、菜の花の黄色が畑一面を覆いつくします。「♪なのはな畑に入り日うつれ見渡す山の端かすみふかし♪」を聞いていると自然の豊かさを感じます。「故郷」は「♪うさぎ追いしかの山こぶな釣りしかの川♪」と始まります。私の出身地の山口県ではウサギ狩りは秋の行事ですが雪国では冬の行事だそうです。

(↓高野辰之記念館)



この歌の作詞者の記念館が飯山近くにあるので前泊して見学しました。記念館の最寄り駅は(次頁へ)

飯山線の替佐駅です。同駅のホームに降りると「故郷」のメロディが聞こえてきます。列車が到着するたびにオルゴールがなるのは昔訪れたままでした。ちなみに長野駅の新幹線ホームのメロディは、歴史と自然を诗情豊かに歌いこんだ県歌「信濃の国」に感激しました。替佐駅から一里の道を歩いてたどるのも昔のまま。「春の小川」にそっていけば目的地につきます。高野辰之は地元の小学校に入り地元の小学校で教員をし

た後、東京に出て文学を学び江戸文学集などの多くの著作を発表しています。記念館では彼の業績をしめす資料をみたりビデオを見たり、あるいは学芸員に質問したりして懸案の疑問もいくつか解決出来ました。

一日目の交流集会在午後に控えているので見学もそこそこに記念館を後にしました。たまの休みの小さな旅は気分をほっとさせてくれます。ありがとうございました。(北辰)

第17回関東甲信越学習交流集会に参加して

2017年11月、その最後の土・日、第17回関東甲信越交流集会在長野県飯山市で開催されました。

集会是、長野センター副理事長の歓迎挨拶に始まり、来賓挨拶と地元飯山市長の歓迎メッセージ紹介のあと、「いの健全国センター」事務局長の岩橋さんから、国会で審議中の安倍働き方改革の内容紹介と批判を中心にした話がありました。

改革案と名乗りながら、許されないのは36協定の残業時間の枠決めです。年間では、残業時間の合計は720時間と制限されるものの、月当りの最高時間ではなんと100時間まで認めるといいうのです。

また2月～6か月平均では80時間を認めるというのですから、開いた口がふさがりません。現在、過労死認定基準とされている時間をそのまま「36協定」でも認めるというのは、厚生労働省は何を考えているのでしょうか。

「過労死するまで働け！しかし過労死しても認定しないぞ」というのと同じようなものであり労働者を馬鹿にしています。

全体集会上では特別報告が二つありました。

続いて場所をかえて六つの分科会がそれぞれ開催されました。私は第2分科会「過労性疾病の認定補償裁判闘争の到達点と取組みの交流」に参加しました。お隣の富山県から参加した会員の森田さんも一緒です。この分科会では、これまで長く顧問を担当していたいただいた神奈川センターの堤弁護士が引退され、そ

の後任として新潟県の若手弁護士が担当することになりました。新潟県で仲間の弁護士とともに多くの「過労死百十番」の電話相談をこなしてきたことが分かり、経験を積んでの引継ぎです。電話相談の多くの経験を交え、労災認定案件に取り組んだ経験をもとにして交流集会分科会顧問を引き受けることになったという紹介もありました。まだまだ経験が足りないとご自身は謙遜なさいましたが真面目に取り組む姿勢はたのもしく、これからの活躍が期待されます。

二日間にわたった分科会、全体会終了後、私は、全国センターの「SE労働と健康研究会」で一緒のITユニオンの委員長と彼の労災認定問題について話し合いました。彼自身もIT経験はないのですが、彼のようなケースは最近のIT企業では珍しくはないとのこと。彼自身も仕事で精神障害を発症したのですが、私の経験ではSE労災事例の原因の殆どはスキルミスマッチが原因ですから非常に驚きました。

ネットで調べてみると最近の事情はもっとひどいようです。なんとパソコンを知らない多くの若者でもIT企業に採用される現実が多発しているようです。この現実にはSEの健康問題と共に、IT社会の脆弱性の問題がより拡散している現実も知りました。

資格のない人が検査する自動車業界、鉄鋼業界でも品質に欠陥があっても出荷しているのを知ると日本の産業の実態は恐るべき事態にあると思われました。(網野)



2018年も励まし慰めあい

学び合う交流を続けましょう

「当面の取組日程」は裏面



当面の取組日程

千葉職対連事務局

2018年

- | | | | | |
|----|-------|--------------|--------|-----------------|
| 1・ | 6(土) | 千葉労連新春旗開き | 17:00~ | 标ル°サ`菜の花 |
| | 10(水) | いの健千葉常任理事会 | 18:15~ | 自治体福祉センター |
| | 17(水) | 千葉職対連常任幹事会 | 17:30~ | 民医連事務センタービル |
| | 27(土) | 労災職業病なんでも相談会 | 13:00~ | 成田市中央公民館 |
| 2・ | 14(水) | いの健千葉常任理事会 | 18:15~ | 自治体福祉センター |
| | 21(水) | 千葉職対連常任幹事会 | 17:30~ | 民医連事務センタービル |
| | 24(土) | 労災職業病なんでも相談会 | 13:00~ | 千葉市中央コミュニティセンター |
| 3・ | 14(水) | いの健千葉常任理事会 | 18:15~ | 自治体福祉センター |
| | 22(木) | 千葉職対連常任幹事会 | 17:30~ | 民医連事務センタービル |
| | 31(土) | 労災職業病なんでも相談会 | 13:00~ | 船橋市勤労市民センター |

